

SHINWA WISE HOLDINGS

2023年5月期決算説明資料

日本美術市場再生プロジェクト
世界の市場に肩を並べるアート市場への再生

2023年7月31日

会社概要・事業概要

業績ハイライト

上半期の取り組み

重点施策

中長期ビジョン

会社概要・事業概要

日本美術市場再生プロジェクト 世界の市場に肩を並べるアート市場への再生

マーケティング中心の
文化支援企業へ

グループ戦略

グループ戦略

富裕層ネットワークの中で生まれ、

社会全体に広がりを持つ**厳選されたプラットフォーム**を構築し、

強いマーケティング力で、高級品の価値付けに責任を持つ

セレクトサービスカンパニー

グローバル・アート・プラットフォーム構想



会社概要

社名	Shinwa Wise Holdings株式会社 SHINWA WISE HOLDINGS CO., LTD.
資本金	資本金1,674百万円
本社所在地	〒104-0061 東京都中央区銀座七丁目4番12号 銀座メディカルビル 2F
主な子会社	SHINWA AUCTION SHINWA ARTEX SHINWA Privé i-ART Edoverse
役員一覧	取締役会長：伊勢 彦信
	代表取締役社長：倉田 陽一郎
	取締役：秋元 之浩
	取締役：岡崎 奈美子
	取締役：張 志軍
	取締役：高橋 健治
	取締役：長田忠千代
	取締役：山本晋平
	監査役：小林 公成
	監査役：大谷 恭子
監査役：高橋 隆敏	

グループ図



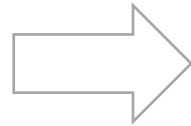
SWHグループ各社紹介

SHINWA AUCTION

シンワオークション株式会社



アイアート株式会社

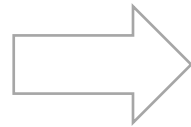


国内最大級のオークション会社連合の誕生

日本の近代美術を中心として、近代陶芸、コンテンポラリーアート、古美術、西洋美術やワイン・ウイスキー、宝飾品、ブランド時計・バッグ、マンガなどを手掛ける。高額落札品における市場シェアでは業界トップクラスを誇る。コンテンポラリーアートなどさまざまな分野にチャレンジし、市場の開拓と活性化に貢献。日本発の新たなオークションブランドを構築し、アジアから世界を目指す。

SHINWA ARTEX

シンワアルテックス株式会社

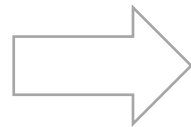


アート投資サロン、Web3スクール、資産防衛ダイヤモンド

アート投資サロンの運営を行い新たな富裕層ネットワーク構築。シンワダイヤモンドクラブの運営、Web3スクール・検定事業開発運営・NFT作品の販売を積極化。インターネットオークション開発中

Shinwa Privé

シンワプリヴェ株式会社

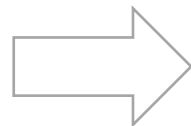


アートディーリング、画廊業

銀座にてギャラリーの運営、展覧会の企画や作家の発掘、プロモーションも展開。NFTアート市場拡大を模索。



Edoverse 株式会社



メタバース内の文化事業の開発とコンサルテーション

徳川宗家19代徳川家広氏監修にて、現代に江戸のGameFiメタバースを開発・運営するコンサルテーション事業を展開。NFTの開発、NFTアートの販売拡大を目指す。

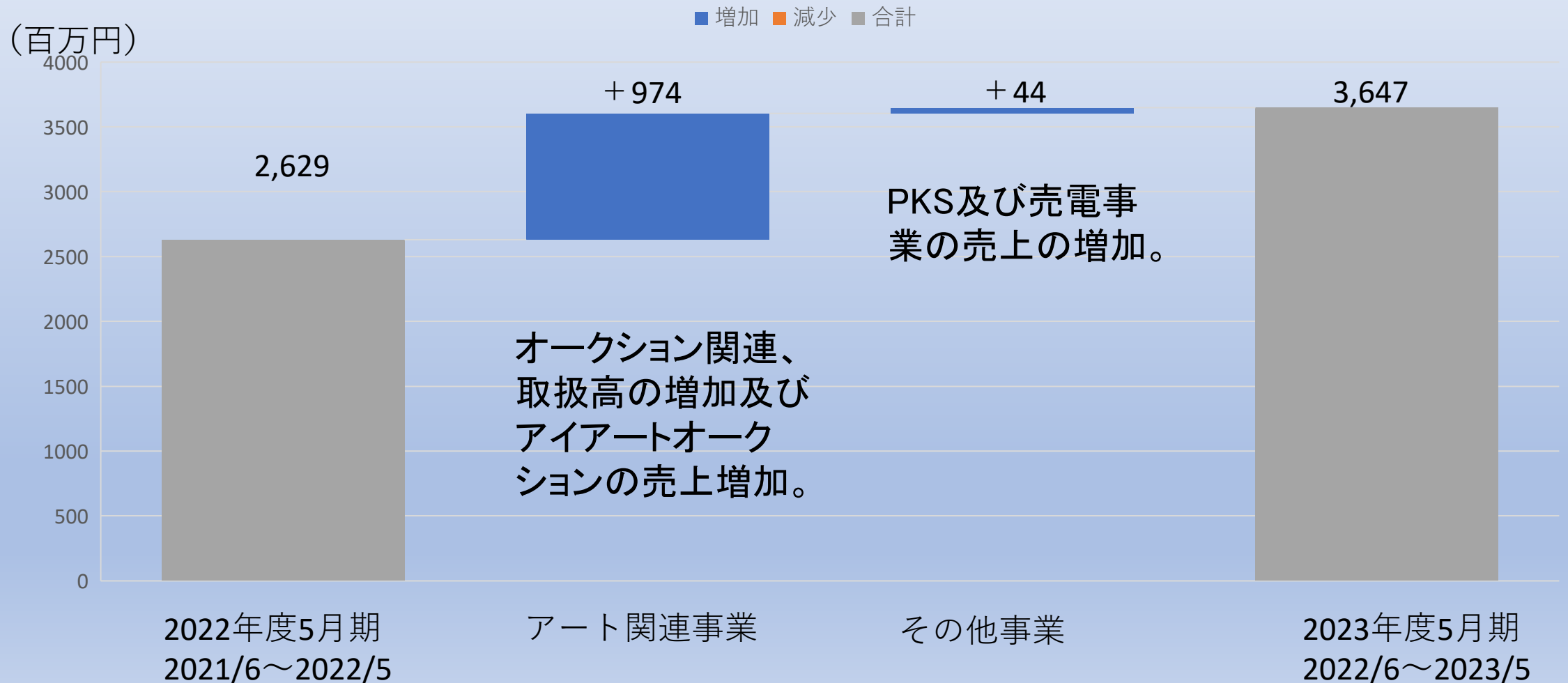
連結業績ハイライト

2023年度連結業績概要

(単位：百万円)

	2022年5月期	2023年5月期	増減	増減率
売上高	2,629	3,674	+1,045	+38.7%
売上総利益	1,501	1,789	+288	+19.1%
営業利益	409	544	+135	+32.9%
経常利益	422	576	+154	+36.5%
親会社株主に帰属 する 当期純利益	144	373	+229	+158.7%

業績ハイライト① 売上高の増加要因



業績ハイライト② アート関連事業 取扱高及び売上高

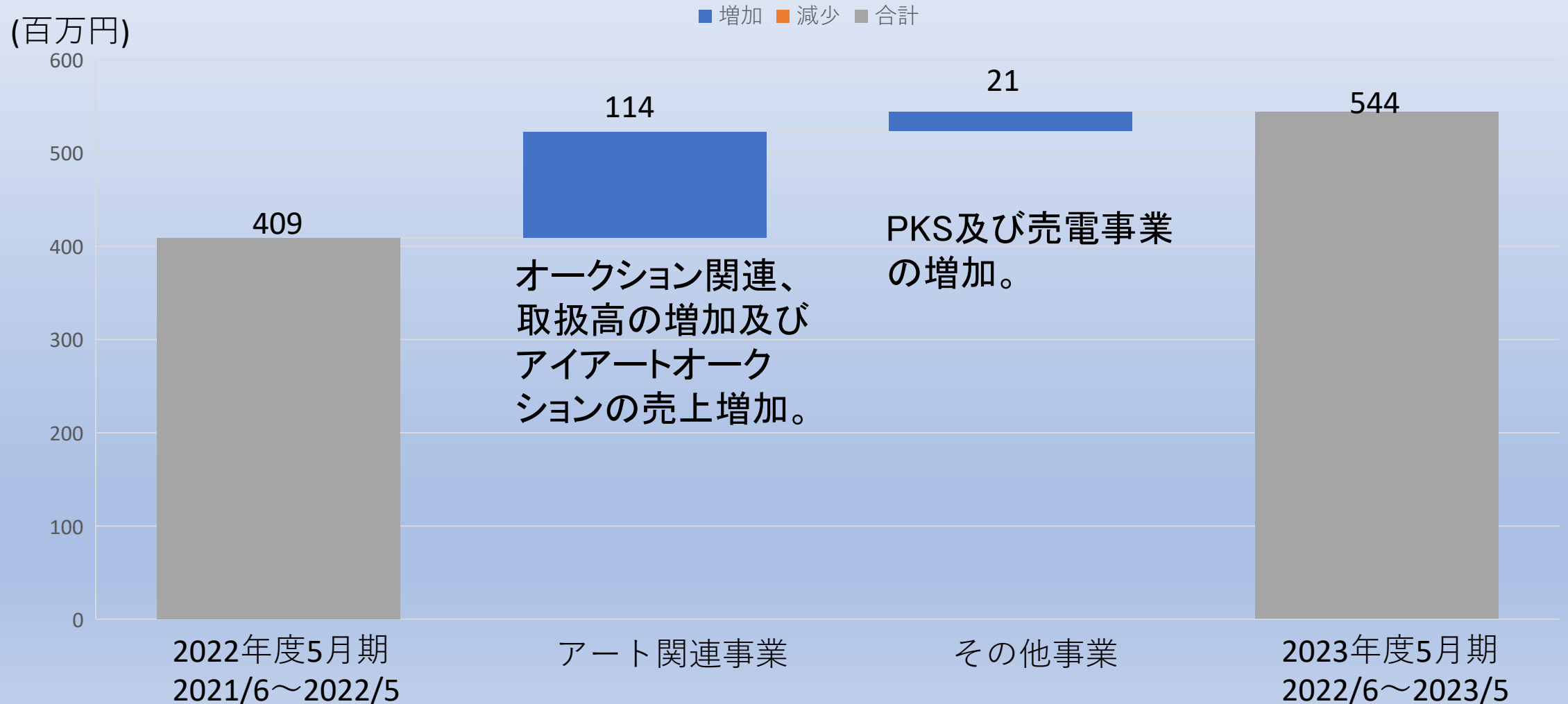
棒グラフ：取扱高
(百万円)

折れ線グラフ：売上高
(百万円)



業績ハイライト③ 営業利益の増加要因

アート関連事業による取引高の増加が主な要因



業績ハイライト④ 連結貸借対照表

(百万円)

	2022年5月期	2023年5月期	増減
流動資産合計	2,877	3,937	+ 1,060
固定資産合計	1,280	1,116	- 164
資産合計	4,158	5,054	+ 896
流動負債合計	761	1,210	+ 449
固定負債合計	372	289	- 83
負債合計	1,134	1,499	+ 365
株主資本合計	2,989	3,523	+ 534
その他	14	16	+ 2
新株予約権	19	14	- 5
純資産合計	3,023	3,555	+ 532

業績ハイライト⑤ 実績値と業績予想との差異

業績予想は期初より変更しておりません。（単位：百万円）

	2023年5月期予想	2023年5月期	差異	
			増減	増減率
売上高	2,925	3,647	722	24.7%
営業利益	516	544	28	5.4%
経常利益	516	576	60	11.6%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	306	373	67	21.9%

2023年5月期のトピックス

2023年5月期のトピックス

- ・ 2022年11月丸ビルでの
近代美術／コンテンポラリーアート／近代美術Part II オークション開催
- ・ 2023年5月丸ビルでの近代美術/コンテンポラリーアート/近代美術part II オークション開催
- ・ Edoverse株式会社がコンサルティングを行う
Edoverse Foundationによる各種イベントの開催
- ・ アート投資サロン推進・Web 3 スクール事業開発
- ・ 資産防衛ダイヤモンド需要拡大
- ・ グループ営業体制再構築・強化によるオークション事業の好調
- ・ 上場以来過去最高の経常利益を達成

SHINWA NFT PROJECT



今期の重点施策

重点施策

①

高額品取扱い拡大・プライベートセール拡大・アジア展開を模索

②

海外担当の営業チーム作成による営業力強化

・積極的な人材の獲得 オークション事業の拡大し増収増益を目指す。

③

宝飾品・時計・西洋美術・ワイン・リカー事業拡大

④

海外顧客からの作品の出品及び落札の拡大

⑤

コンテンポラリーアート本格展開・拡大

⑥

Edoverse株式会社による仮想空間コンサル事業の推進

⑦

資産防衛ダイヤモンド・NFTアート拡大・Web3スクール事業推進

中長期ビジョン

中長期ビジョン

- ① **アートオークション拡大・世界戦略**
- ② **富裕層マーケティング・高額出品強化**
- ③ **アジア戦略推進・中国進出模索**
- ④ **プライベートセールによる収益拡大を目指す**
- ⑤ **資産防衛ダイヤモンド・宝飾品・時計市場開拓拡大**
- ⑥ **Edoverse開発コンサル推進・Web 3 スクール売上拡大**

アジア戦略推進・中国進出模索・M&A

- アジア戦略推進
- 羽田オークションからの進化
- 中国進出模索
- アメリカ市場を視野に



Edoverse コンサルテーション

デジタルツイン

土地NFT

刀NFT

ヒーローアバター



Edoverse

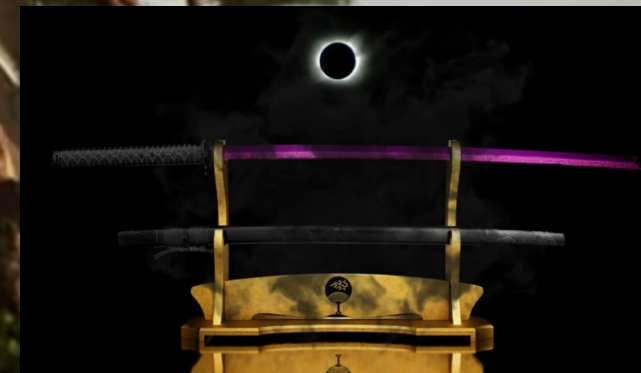
GameFi

Play-to Earn エコシステム

ショールーム

イベント

ミュージアム



Edoverse コンサルテーション

Edoverse株式会社、Vtuberを活用したメタバース空間集客などでピアズと業務提携

～まずはVtuberオーディションを開催～

Shinwa Wise Holdings株式会社

🕒 2023年6月8日 15時02分



Shinwa Wise Holdings 株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役：倉田陽一郎）の100%子会社であるEdoverse株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役：倉田陽一郎、以下：Edoverse社）は、株式会社ピアズ（本社：東京都港区、代表取締役社長：桑野隆司、以下：ピアズ社）と、江戸をモチーフとしたメタバース空間（Edoverse）への集客支援、企画コンサルティング、デジタルツイン（現実の人、場所などのデジタル複製）のマーケティング×コンテンツ企画運営の事例作りなどを目的として、業務提携契約を締結しましたのでお知らせいたします。

【Edoverseイメージ】

（参考URL）Edoverse Channel

<https://www.youtube.com/live/cAVJ4I5mDX8?feature=share>



【ピアズが製作支援するEdoverse内VTuber案】 ※画像はイメージです



左から、
『姫』、
『くのいち』、
『忍者』、
『サムライ』

概要

Edoverse社は、徳川宗家19代である徳川家広氏が江戸の町を監修し、Edoverse Foundation が構築する江戸のメタバース(仮想空間) 開発のコンサルティングを担っております。

他方、ピアズ社は、メタバース領域におけるアライアンスや新サービスの企画・開発を積極的に推進しております。また、イベント企画力も活用したVTuberプロダクション『NeoRad』も展開しています。

この度の業務提携により、ピアズ社と、Edoverse社は、デジタルイベントの成功事例創出を目指し、両社の持つアセットを活かしながら、メタバース領域における新サービスと新コンテンツの企画・開発を進めてまいります。

今後の展開について

Edoverseへの集客を目的としたVTuberオーディション、VTuberの配信プロデュース、Edoverse内でのライブの実現、NFTを活用したアイテム物販などを共同で実現してまいります。

【ピアズとは】

ピアズグループは「いつかの未来を、いつもの日々に～New Normal Acceleration～」をコンセプトに掲げ、新たなモノ・コトを積極的に活用していくための活動を社会に広げていくことに取り組んでおり、NeoRad事業として、リアルとメタバースをかけたイベントやエンターテインメントの提供を通じてWeb3.0時代の新しいコミュニティの形を世界中に提案することに取り組んでいます。

【Edoverseとは】

Edoverse Foundationが構築する江戸のメタバース(仮想空間)を指します。徳川宗家19代徳川家広氏が江戸の町を監修し、Edoverse Foundationが仮想空間の開発、Edoverse株式会社が、Edoverse Foundationのコンサルティングを行います。今後のアート流通における新たなマーケットとしても拡大が見込まれるデジタル仮想空間上に江戸時代の世界観を再現し、その中でアートに関わるさまざまなコンテンツを運営するアートコンプレックスを展開することにより、ユーザーへのアート体験や日本文化の啓蒙のほか、NFT・ブロックチェーン技術を用いることにより、そこへ出展するアーティストへの経済的還元を実現する仕組みなどの構築を行い、持続可能な参加者還元型エコシステムの実現を目指します。

Web3 スクール・検定

Web3セミナー/スクール開講のお知らせ



appendix

オークションが好調

2022.09.17

【オークション落札結果】9月17日開催 近代陶芸 / 近代陶芸PartII / 近代美術 / 近代美術PartII / コンテンポラリーアート / オークション

近代陶芸 / 近代陶芸PartII / 近代美術 / 近代美術PartII / コンテンポラリーアート オークション
落札結果

◦ 落札額合計 1億5,363万円 (落札率 : 97.45%)

[落札結果一覧はこちら](#)

2022.11.12

【オークション落札結果】11月12日開催 近代美術 / コンテンポラリーアート / 近代美術PartII / MANGA オークション

近代美術 / コンテンポラリーアート / 近代美術PartII / MANGA オークション 落札結果

◦ 落札額合計 12億1,480万円 (落札率 : 92.80%)

[落札結果一覧はこちら](#)

リリース②

オークションが好調

2023.02.25

【オークション落札結果】2月25日開催 WINE / LIQUOR 【特集：Dr.H COLLECTION】オークション

WINE / LIQUOR

特集：Dr.H COLLECTION オークション 落札結果

◦ 落札額合計 2億4,097万円（落札率：92.06%）

[落札結果一覧はこちら](#)（[詳細版はこちら](#)）

2023.05.27

【オークション落札結果】5月27日開催 Luxury Evening Auction / 近代美術 / コンテンポラリアート / 近代美術PartII / MANGA オークション

Luxury Evening Auction / 近代美術 / コンテンポラリアート / 近代美術PartII / MANGA オークション 落札結果

◦ 落札額合計 10億7,906万2,250円（落札率：86.4%）※記載の金額には落札手数料のみ含まれています

[落札結果一覧はこちら](#)（[簡易版はこちら](#)）

リリース③

株主優待制度の導入

1. 株主優待制度の目的

株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を高め、より多くの方々に当社株式を保有していただくことを目的に株主優待を行います。

2. 株主優待制度の概要

(1)対象となる株主様

毎年5月末日現在(基準日)の株主名簿に記載又は記録された、当社株式10単位(1,000株)以上を保有する株主様を対象といたします。

3. 株主優待の内容

(1)当社子会社のShinwa ARTEX株式会社が主催する資産形成アート投資サロンの入会金を免除いたします。

(2)1 1月に当社子会社のShinwa Auction株式会社が開催するオークションカタログを贈呈いたします。

(3)1 1月に当社子会社のShinwa Auction株式会社が開催するオークションの出品手数料を2%割り引きいたします。

リリース④ 資本金の減少及び剰余金の処分

- 1. 資本金の額の減少の目的
- 当社は、企業価値の持続可能な成長を実現するための経営戦略の一環として、事業規模に応じた適切な税制の適用により、税負担の軽減を図り、繰越利益剰余金の欠損を填補し、財務の健全性を維持し、資本政策の柔軟性および機動性を確保することを目的として、会社法第 447 条第 1 項の規定に基づき、資本金の額の減少を行うことといたしました。
- 2. 資本金減少の要領
- (1)減少すべき資本金の額
- 資本金の額 1,674,567,246 円を 1,624,567,246 円減少して、50,000,000 円といたします。
- (2)資本金の額の減少の方法
- 払戻を行わない無償減資とし、発行済み株式総数の変更は行わず、資本金の額のみを減少し、減少する資本金の額 1,624,567,246 円をその他資本剰余金に振り替えるものであります。
- 3. 剰余金処分の内容
- (1) 会社法第 452 条の規定に基づき、資本金の額の減少の効力発生を条件に、資本金の額の減少により生じるその他資本剰余金 1,624,567,246 円のうち 147,397,148 円を繰越利益剰余金に振り替えることにより、欠損填補に充当いたします。
- (2) 減少する剰余金の項目及びその額 その他資本剰余金 147,397,148 円
- (3) 増加する剰余金の項目及びその額 繰越利益剰余金 147,397,148 円

リリース④ 資本金の減少及び剰余金の処分

- 4. 減資の日程
 - (1) 取締役会決議日 2023年7月27日
 - (2) 定時株主総会決議日 2023年8月28日(予定)
 - (3) 債権者異議申述最終期日 2023年9月29日(予定)
 - (4) 減資の効力発生日 2023年10月1日(予定)
- 5. 今後の見通し
 - 本件は、純資産の部における勘定科目間の振替処理であり、純資産額の変動はなく、業績に与える影響はありません。なお、本件は、2023年8月28日開催予定の株主総会において承認可決されることを条件としております。

本資料のお取り扱いのご注意

- ・本資料は当社をご理解いただくために作成されたのもので、当社への投資の勧誘を目的としておりません。

- ・本資料を作成するにあたっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、予想は様々な不確定要素が内在しており、完全性を保証するものではありません。

- ・本資料の情報によって生じた影響や損害については、当社は一切責任を負いません。本資料の一切の権利は当社に属しており、方法・目的を問わず、無断で複製・転載を行わないようお願い申し上げます

お問い合わせ先

Shinwa Wise Holdings株式会社（メールアドレス：info@shinwa-wise.com）

ウェブサイト：（<https://www.shinwa-wise.com/>）